

ベイタウンに EV バス登場！

ある日、白帆通りを歩いていると、正面からシャープな顔つきのバスがやってきました。一見いつもの黄色いベイタウンバスですが、よく見ると「EV バス」というマークがついています。自粛生活のせいでバスを利用する機会が減ったその際に「電気バス」が登場していたとは知りませんでした。コロナ禍で何事にも萎縮しがちな今、新しい時代を拓く車種を導入したのは平和交通株式会社。総務部総務課の方に話を聞いてきました。もちろん実際に乗ってもみました。【小原】

平和交通が導入したのは大型電気バス 2 台、小型電気バス 1 台。そのうち 1 台をベイタウンバスとして 5 月から運行させています。マリルルート・タウンルートの 2 ルートを循環している 6 台のうちの 1 台です。平和交通のいくつもある運行路線の中で電気バス導入第一号のひとつにベイタウンが選ばれました。それは、ベイタウンの街開き当初から、自治会連合会の交通委員会を介して住民とバス会社が共同でルートの設定や停留場の位置など様々な交通問題に取り組んで来た、という積み重ねがあったので、乗客の環境に対する考え方が EV バス導入の目的と合っていると判断したからでした。

また、電気バスと従来のハイブリッド車のそれぞれの長所を実証的に知るために、ほぼ平地のベイタウンエリアはちょうどいい、(もう 1 台の大型電気バスは起伏の多いルートに使われている)ということも導入の決め手になりました。

電気バスは中国の BYD 社製です。安全性や耐久性を様々な方法で検討・確認し、アメリカ・アジアなど世界各国ですでに採用され運行しているという実績が評価されました。脱炭素社会の実現を目指して電気バスの導入を検討し始めたのはコロナ禍前。国土交通省の「地域交通グリーン化事業」の認定を受ける準備が進む最中に、コロナ禍という逆風を受けましたが、最終的に社内で議論を重ねて決断したそうです。路線バス用の大型電気バスはなんと全国初。現在普及しているハイブリッド車の導入も千葉県初だったと聞き、進取の気性に富む社風に触れた気がしました。

バスの定員は 81 人。1 回充電すると 220km 走ることができますが、ベイタウンエリアは平地で、一日走り続けて 140km なので、余裕の能力です。一日が終わると、宮野木の本社の充電器につながって夜間電力を利用して充電します。

電気バスは、走行中に二酸化炭素を排出しません。太陽光発電の効率が上がれば本社にパネルを設置し、自前の電気にして火力発電に頼る必要を無くしたい、という将来も見据えています。電気代も、例えば 7 月には同ルートのハイブリッド車の燃料代の 66% で済みました。オイル不要で従来

の車より部品数が少ないため、メンテナンス面でも負担が軽減しているそうです。

実際に乗ってみると、低床車なので乗り降りが楽です。座席の座り心地は少々硬め。「ハイブリッド触媒」を使った抗ウイルス施工が車内全体にほどこされているということで、感染症予防も万全です。乗り心地で一番感じたのは、止まる時に滑らかにスピードが落ち、信号待ちのときもブルブルとした振動がない点です。乗客の中にはモノレールみたい、と言う人がいたとか。正面のデザインも精悍な顔つきで、ベイタウンを走っていると子どもが笑顔で手を振ってくれることもあるそうです。

コロナ禍がなければ、もう少し大々的に皆さんにお披露目したかったと、お話しいただいた平和交通の藤原さんは残念そうに言います。走り始めて半年、通勤通学に利用している人にはもう何気なく溶け込んで日常のものになっているのでしょうか。今度電気バスに乗った時、バスの乗り心地をじっくり味わってみてください。



EV バスはガソリンでなく電気で走る。そのため平和交通本社の駐車場には「充電器」が置かれていて、ここで電気を補充する。



やがて紅葉がはじまる打瀬東通りのユリノキ並木を走る EV バス (打瀬小横)。このバスの特徴はなんといっても正面の「ネコの目」。ある女の子は「トトロのネコバスみたい」と言っていた。紅葉のなかのネコバスはいい景色でしょうね。



ベイパークエリアに産婦人科医がオープン

今から20年ほど前、ベイタウンでは毎月10人以上の赤ちゃんが誕生していました。でもその当時にも街には産婦人科の医療機関はなく、少し不思議だなと思ったことがあります。当時の妊婦さんたちは苦労していたんでしょうね。そんなベイタウンにも今年8月に初めての産婦人科医さんがオープンしました。正確にはベイタウンではなく、ベイパーク地区でのオープンですが、ベイタウンの妊婦さんもちろん大丈夫。これは大ニュースと思って早速取材してきました。

開業したのは幕張ベイパークメディカルセンター3階の「幕張とらのこ産婦人科」。「とらのこ」というネーミングにも愛着を感じます。実はこの医院は稲毛にある「稲毛とらのこ産婦人科」の分院です。つまり分娩までの診察をこちらの幕張で行い、いよいよ出産という時期になると入院施設を持つ稲毛の本院へという流れになります。

ベイタウンに産婦人科の医院がなかったのは、この地区の人口密度が高く、入院設備をもつ医院は開業するにもリスクがあるからだと思いますが、診察と分娩を分けることでこの土地代の高いベイエリアでも産婦人科医の開業を可能にしたのですね。

「幕張とらのこ産婦人科」で行うのは妊婦健診や通常健診、がん検診、一般婦人科（婦人科検診、月経トラブル、おりものの相談、感染症のチェック、更年期相談など）、避妊、ピル相談（ピル処方、アフターピル、子宮内避妊器具、月経移動など）、子宮頸がんワクチンなどです。

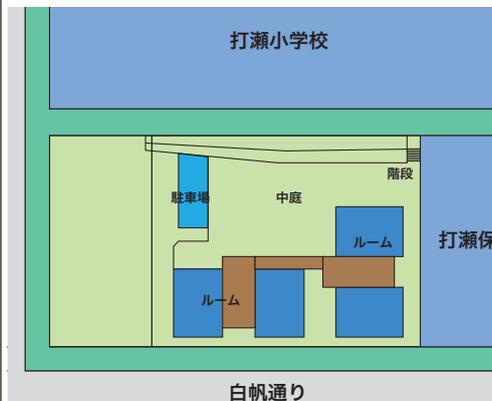
こちらのクリニックは外来診療のみで、

34～35週頃に稲毛とらのこ産婦人科に転院し、分娩および全身麻酔を要する外科処置（流産・中絶手術等）は本院で行います。

院長の渡邊悠久美さんは、産婦人科専門医の資格に加え、内科学会認定内科医、麻酔科医の資格も持つお医者さんですが、同時に3児の母親でもあります。

打瀬子どもルーム 工事はじまる

白帆通りに面した打瀬保育園横の広い空き地。先日ここに新しい建築許可書と工事開始の看板が立てられました。看板には具体的な内容がなく、何ができるのかと思っていたら、その後近隣の番街に工事案内のお知らせが掲示されたので、この施設が新しくできることも子どもルームだと分かりました。



新しいルームの配置。白帆通りに沿って打瀬保育所横に2棟が建てられ、打瀬小とは階段でつながる。

ベイタウンはこれから出生数が減少しますが、近くに産婦人科医さんがいることで出産への安心感も増します。大いに期待しています。

幕張とらのこ産婦人科

外来診療日：月・火・水・金・土

外来休診日：木曜・日曜・祝祭日

外来診療時間

月・火・水・金：9:00～12:00, 14:00～

18:00, 土：9:00～13:00

tel 043-445-7270



新築されるのは「打瀬子どもルーム」。千葉市によると定員は240人。平屋建て2棟の建物と駐車場、中庭を含みます。施設は打瀬保育園に隣接する位置に建てられ、空き地全体の2/3ほどを占める大きさです。この9月から工事を始め、来年3月末には完成、4月からのオープンを予定しています。

さて、この子どもルーム。定員が240人とかかなり大きなものです。現在の打瀬小学校の児童数を考えるとオーバースペックな気もしますが、これは今後のベイパークエリアでの児童数の増加に対応するためだそうです。

これだけ大きな施設を作ると、これまで使われていたベイタウン・コア内の子どもルームはどうなるのでしょうか。廃止になり、部屋はそのままコアの施設として活用され、その利用方法について、かつてコア建設の際に行ったような一般住民による夢のある話し合いを期待するところです。千葉市によると、こちらの子どもルームも今後の児童数の推移により使用することもあるので、来年度からもしばらくはそのまま子どもルームとして使用することです。



人と動物との共生に向けて「ねこ」の譲渡会を行いました (9月5日@ベイタウン・コア)

少し前までは「のらねこにエサをやってはいけない」と呼びかけられていました。かわいそうだからとエサだけあげていると、こねこが次々と生まれてしまいます。今は「ルールを守ってエサをあげてください。ただしエサ皿やふん尿の片づけをしてください。そして、こねこが生まれないように不妊手術をしてください」との呼びかけがされています。

地域ねこは、不幸なねこを増やさず、人と動物とが地域で共生し、暮らしやすいまちをめざす千葉市の取り組みです。

日曜日の午後、地域ねこ活動を通じて保護されたねこたちが、ベイタウン・コアに集まり、温かく迎えてくださる家族とのお見合いをしました。飼い主のいないねこの命を守る取り組みは、海外では社会の中で当たり前になっています。ねこを飼いたいと思った時に、ペットショップで買うのではなく、保護ねこに目を向けてくださる方がベイタウンには数多くいることを実感しました。主催者である美浜ねこの会から

は、「予想を上回る来場者の方々に感謝いたします。当日や譲渡会後にも支援物資を送って頂き、大変助かりました。無事開催できましたことにお礼申し上げます」とのメッセージが届きました。ちなみに、公民館で行う譲渡会は千葉市で初めての取り組みでした。

会場にはねこのきもちを表したお話のパネルや保護ねこたちの経緯を説明した資料が掲示され、意見交換もおこなわれました。ベイタウンペットクリニックの獣医師の先生がねこの状態をみてくださり、感染症の予防などのアドバイスもいただきました。公民館のスタッフのみなさまにも準備段階からご尽力いただきました。

主催した「美浜ねこの会」は、ねこの命をつなぐための譲渡活動のほか、地域ねこの世話や子どもたちに命の大切さを伝える啓発活動にも意欲的に取り組んでいる団体です。【投稿】

美浜ねこの会：

<https://mihamaneko.crayonsite.com/>

コアフェスタ・ミニ 開催決まる

毎年コアで開かれているコアフェスタ。昨年は残念ながらコロナ禍で例年の規模での開催が出来ませんでしたが、それでも「コアフェスタ・ミニ」としてホールでの演奏会のみが開催されました。今年のコアフェスタはどうなるのでしょうか。コアフェスタを主催する打瀬公民館サークル協議会代表の青野さんに今年のコアフェスタの行方を聞いてみました。【松村】

一 コアフェスタにはどのくらいの数のサークルが参加しているのですか

毎年コアフェスタには、20団体ほどのサークルが参加しています。演奏系のサークルや、ダンスなどの運動系のサークル、絵画や写真などの展示を行う文化系サークルもあります。コアは大きさに制限があるので、これ以上増やすことはできませんが、今は2日間で丁度いいくらいの数のサークルが毎年参加して、発表しています。

一 昨年からコアフェスタはコアフェスタ・ミニになり規模を縮小しましたね

例年は2日間で20サークルほどが参加していましたが、昨年のご存じのようにコロナ禍で、同じ規模で舞台発表や展示をおこなうことは感染対策上難しいと考え、1日のみ、舞台発表のみのフェスタにしました。

一 コロナ禍での開催に反対はありましたか

毎年参加しているサークル連絡協議会のメンバーの中には反対意見もありました。反対意見もある中で開催したのは、サークルの多くは年間計画で活動を行っています。1年間の締めくくりとしてコアフェスタでの発表を行い、次の1年間へのスター

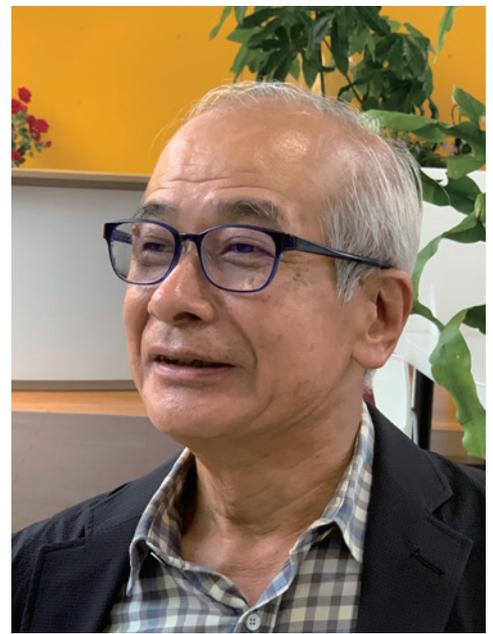
トにするというサイクルで活動を行っているところが多いのです。そのための発表の場を提供することが公民館の役割だと考えました。主催者としては「発表の場」を提供し、各出演団体が自分達の発表会を開催する。その集合体のコアフェスタ・ミニという枠組みを作りました。館長さんともこの考えを共有していただき開催できました。当然公民館のイベントですから千葉市の指定に従い、徹底的な感染対策を行い、また合唱など飛沫の飛ぶ可能性の少ない楽器演奏などに限って開催しました。

一 ミニとして開催した成果はありましたか

千葉市内のすべての公民館が秋の「公民館まつり」の行事を中止する中で、打瀬公民館のみがミニという形であれ発表会を開催することができました。これについては公民館の館長会議でも評価されたと聞いていますし、参加したサークルからも開催してよかったという声を聞いています。サークル協議会としては毎年の文化行事を途絶えることなく開催できたという意味で成功と評価しています。

一 今年もこのミニのスタイルで開催するのですか

はい。今年は少し参加希望団体が増え、



9～10団体が参加する予定です。昨年同様、厳格なコロナ感染対策ルールを設けて開催します。密にならないよう、展示は行わず、日程も2日間に分けて分散して行う予定です。

一 これからベイトウンコアはどんな施設であって欲しいと思いますか

ベイトウンに住むみなさんが生活を豊かにし、それを盛り上げることができる施設にするのがサークル連絡協議会の役割だと思っています。みなさんご協力ください。

マンション管理組合向け講座のお知らせ

昨年につづいて今年もマンション管理組合向けの講座を開催します。昨年の講座では千葉県マンション管理士協会から講師を招き、特に大規模修繕工事について、進め方や効果的な対策について話を伺い、多くの管理組合理事の皆さんから好評を得ましたが、今年はもう少し踏み込み、「そもそも大規模修繕工事の積立金はなぜ不足するのか」というテーマでお話を伺います。

入居当時とちがいが、マンション管理を取り巻く環境は大きく変化しています。ある新聞報道では都内の小規模マンションでは管理会社が管理業務を断るといったケースも発生しているそうです。管理会社が利益の見込めないマンションは業務を受注しないという流れです、ベイトウンも無縁ではありません。

コロナ禍の中、定員は40名までです。できるだけ多くの方に聞いていただきたい講座ですが、特にマンション管理組合の理事のみなさんには役に立つ内容です。

日時：11月7日(日) 午前10:00～12:00

場所：ベイトウン・コア 講習室

受付 10月14日(木)～

参加費：無料(先着40名まで)

2021 コアフェスタ ミニ

日時 2021年 10.30(土)

場所 ベイトウン・コア(打瀬公民館)

9:30～17:00

10月30日(土)

11:00～
11:30 をどり組

11:30～
13:00 会場設営・休憩

13:00～
13:30 大正琴琴江会うたせ

14:00～
14:30 レディーススケッチ,
ダンスキッズ

15:30～
16:30 幕張ベイトウンオーケストラ

10月31日(日)

10:00～
11:00 太極拳

11:30～
12:30 音楽愛好会

12:30～
13:30 昼休み

13:30～
14:20 千葉ソロギターサークル

15:00～
15:30 ベイトウン・
フルートアンサンブル

16:00～
16:30 幕張ベイトウン室内合奏団



つどいまなびつなぐ

ベイタウン・コア / 公民館通信

● 11月の主催講座（ベイタウンニュース共催）

住民目線で大規模改修工事を考える

日時：11月7日（日）10：00～12：00

場所：打瀬公民館ホール

対象：打瀬地区住民 先着40名

講師：千葉県マンション管理士会理事

片山 次郎 先生

※受付 10月14日（木）～

パソコン教室～年賀状を作ってみましょう～

日時：11月10日（水）～12日（金）13:30～15:30

場所：打瀬公民館講習室

対象：成人 抽選10名

持ち物：USBメモリ、筆記用具

講師：「パソコン太陽」のみなさん

※受付期間 10月14日（木）～10月20日（水）

● コアフェスタ・ミニ（公民館文化祭）について

日時：10月30日（土）31日（日）10：00～

場所：打瀬公民館ホール

コロナ禍の中ではありますが、市から示されているガイドラインに沿って、できることをできる形で発表の場を設けられたらと、サークル連協さんが中心となって計画してくださいました。今後もしばらくは続くであろうwithコロナの状況の中で、工夫しながら活動の在り方を模索することは重要なことと考えます。現在9のサークルと、打瀬中の吹奏楽部が参加の予定です。

第205回ファティオリの会

日時：10月24日（日）午前9：30～

場所：ベイタウン・コア音楽ホール

フルコンサートピアノ「ファティオリ」の演奏やその他の楽器の演奏をして頂きます。ただし、今回はコロナウイルス感染拡大防止対策として、歌唱、管楽器演奏は行なえません。また入場人数の制限、演奏中も換気のためホールドアを開放など新しい形での開催となります。担当者の指示に従ってご参加頂きますようお願いいたします。非公開でのご利用も受け付けております。状況により中止の場合もあります。

最新の情報は、<http://baytown-core.net/top.html> をご覧ください。

申込締切：10月17日（日）

担当者 笠原 tohiyure41012@gmail.com

10月23日（土）寺子屋工作ランド

「木の実ぶえ（このみぶえ）」

日時：10月23日 第4土曜日 午前9：30～11:30

場所：ベイタウン・コア工芸室

シイの実（ドングリ）、ツバキの実、トチの実、木の実の中身をくりぬいて空っぽにすると、よく鳴る笛（ぶえ）ができます。

持ってくるもの：小刀、えんぴつ、セロテープなど

参加費：50円（保険料）

キュービックカフェ 10月・11月のイベント・ワークショップ



毎月第2土曜日はキュービックの日！『キュービックマルシェ』

<10月> 10/9（土） <11月> 11/9（土）

11:00～16:00 コミュニティスペースにて。

※「例のパンや」さんも出店予定です。検温・消毒・マスクの着用にご理解・ご協力ください。

イベント最新情報はキュービックカフェホームページをご確認ください。

イベント詳細・お問い合わせ：キュービックカフェ

<https://www.cubic-cafe.com/>



● 緊急事態宣言に伴う対応について

・20：00での閉館

・自習室開放の停止

（アトリウムでの短時間の利用（休憩等）は可とします。）

※期間の延長や、市から新たな制限等の指示があった場合には、速やかに連絡・掲示等でお知らせします。

● アトリウム飛散防止フィルム装着工事

大規模地震等の災害時の安全確保のため、アトリウム上部窓ガラスに、飛散防止のフィルムを貼る工事が行われました。

10月5日まで、アトリウム内に足場が設置され、通行や休憩スペースが手狭になりご迷惑をおかけしました。



激しい揺れで、窓ガラスが割れても、頭上に落下する心配はなくなりました。また、フィルムの装着に合わせて、ブラインドの修繕も行いました。

わくわくおはなし会

10月のおはなし会は完全入れ替え制の2回公演

日時：10月16日 土曜日

時間：1回目：10時から 2回目：11時から

プログラムは各回同じ内容、1回45分程度の完全入れ替え制

場所：ベイタウン・コア講習室

定員：各回16名（感染防止の観点から十分な距離を取らせて頂きます。マスク着用でご参加ください）

ご好評につき2回公演としました。感染症対策として、予約・定員制となりますので、ご参加希望の方は下記メールアドレスにて、代表者のお名前・ご参加人数（お子様の場合は年齢も）・ご希望の時間を明記の上、お申込みください。年齢制限はありません。皆さまに安心安全にご参加いただけるよう、細心の準備をして開催させていただきます。

※最新情報はブログでご確認ください

ブログ更新中・見てね** <http://blog.livedoor.jp/chibawaku/> *

◆ お申込み・お問合せ先 ◆ waku2book@gmail.com

10月のベイタウンかふえ ～ひさびさのオープン～

10月13日（水）13：30～16：00（いつでも出入り自由）
地域連携センター（打瀬公民館：コアの横）で開いています。

過ごしやすい季節になりました。自粛生活の長期化で心身ともに弱ってはいませんか。元気になる秘訣は「人との繋がり」です。生のジャズピアノ演奏とおいしいコーヒーで、憩いのひと時を共に楽しみましょう。

ウイルス感染予防対策を徹底的に行ないます。お喋りする際は、必ずマスクの着用をお願いいたします。

問い合わせや、連絡等がありましたら、

うたせ認知症を考える会 中澤（TEL：211-0588）までどうぞ。

ベイタウンニュースにチラシの挟み込み広告をしませんか。

ベイタウンニュースは地域の住民がボランティアで発行しています。発行の費用はすべて地域の商店や企業のみなさまからの広告で行われており、営利団体ではないので得られた広告費は全額ニュースの発行のために使用されます。

毎月第1土曜日にベイタウンの全戸に配布します。チラシ挟み込みの広告費は1回50,000円です。

お気軽にご連絡ください。

TEL：043-211-6853、E-mail：mazmbtn@gmail.com（松村）